

しどういん

発行
厚木市青少年指導員
連絡協議会
編集 広報部会
厚木市中町1-1-3
TEL 225-2580

現代における社会は物が溢れ、個人の価値観やライフスタイルも多様化しております。一方地域社会においては、人々の集う機会が減少し家庭や地域において、人と人のつながりにより地域で青少年を見守り育成する「地域の教育力」というものが低下してきているのではないかと感じます。

しかしながら、昔からある地域でのつながりや信頼関係それに伴う大人からの「しつけ」は、青少年が大人へと成長していくうえでとても大切な要素であるとと考えております。

そして地域で活躍している青少年指導員の皆様には、「我々の時とは時代が違うから」ということで片付けることなく、今の時代に対応しながらも家庭における「しつけ」とは別に、社会が必要とする「しつけ」について根気よく地域の青少年、特に子どもたちに対しての指導を、引き続き行っていただきたいと思います。

前回の「しどういん30号」中で、堀田会長が「手は身体の外に出た脳である」と哲学者のカントの言葉を使い表現していたとおり、ものづくりを通し五感で学び体験することの大切さを

訴えておりました。私も同じ気持ちで、青少年指導員の皆さんには子どもたちが、地域の伝統行事などに積極的に参加できるように働きかけていただければと思っています。

地域での体験の場や行事への参加、こうした体験は心の成長に良い影響を与え、人間性が豊かになるのではないのでしょうか。その機会を通して、社会が必要とする「しつけ」をしていただけたらと思います。

最後に、青少年指導員の皆さんが地域の方々とともに、青少年の健全育成を行う環境づくりの中心となって活躍していただき、ブルーのジャンパーがシンボルの青少年指導員が地域の子どもたちと一緒に泣いたり、笑ったりと引き続き奮闘していただきますようお願いしております。

青少年指導員に期待すること
厚木市子ども会育成連絡協議会 会長 若杉重美

青少年指導員の皆様には各地域で子ども会活動を支えていただきありがとうございます。

現在市内では97の単位子ども会がありますが、会員数の減少が長年の課題となっております。そのような中、各地域で子ども会組織を絶えることなく継続

地域での子育て
青少年指導員連絡協議会会長 堀田哲郎

青少年指導員の基本は地域の活動にあります。地域の子どもたちを育てる事、同時に大人同士のコミュニケーションも図らなければなりません。

最近、教育という名のもとに行き過ぎた指導が問題となり、子どもが自らの命を絶つなど、あってはならないことが起きています。教育の現場にはいろいろな事がありますが、子どもたち一人一人の持っている物差しを認めて、おおらかに構えることも必要です。我々も社会教育の一翼を担うものとして「しつけ」を大きくとらえて実行していきましょう。

団体育成部会を中心に、ジュニ

運営されておられる子ども会育成役員の方々には大変な御苦労をおかけしております。ほとんどの役員は保護者の中から選出された若いお母さんで未就学児をお持ちの方も多く、子育てと子ども会活動の両立に奮闘されておられます。

そういった状況を少しでも改善するために自治会や健全育成会、地域の有志の方との橋渡し役またはアドバイザーとして、地域のネットワークと人脈に精

通しておられる青少年指導員皆さまのお力添えをいただけたらと思います。

そこから自治会組織と連携した子ども会のような新たな展開が見えてくるかもしれません。わたくし達厚木市子ども会育成連絡協議会のさらなる努力の上にも皆様の力をいただき子ども会活動を盛り上げていきたいと思います。

今後ともよろしくお願いたします。



おめでとうございます。

神奈川県青少年指導員 表彰を受けて

青少年指導員になり12年、今回表彰をしていただき、これも良き仲間と地域の方々の協力があったことと大変感謝しております。

青少年指導員になった時は、次女が8歳の時でその娘も今年20歳の成人式を迎えることになりました。娘の成長と共にジュニアリーダーの代表相談役になり、同世代の子どもたちと関わることで多感な時期の青少年の事も色々勉強させられることがありました。

当初ジュニアリーダーをしてきた子どもたちも28歳になり、今でも時折連絡があり近況などを聞かせてくれます。

世代がかわるにつれジュニアリーダーも私の手に負えないこともありました。指導員としてやっていけるのだろうかと思ふことも...そういう時は、やはり仲間のアドバイスや協力があって助けた事も多々ありました。子どもたちも十人十色、色々なことがあって当然だと思ふようになり、あつという間に12年が経ってしまいました。

表彰式当日はオープニングでの横浜市中沢小学校合唱団の心にしみる歌声から始まり、表彰式の次に横浜市神奈川区と、横浜南区の事例発表がありました。そして引き続き講演は、薬師寺執事大谷氏の「幸せの条件」をテーマに心の勉強をさせていただきました。

帰りに大谷氏の1月、12月の標語のカレンダーを購入しました。これは毎月の心の持ち方、考え方が言葉になっているもので、今年1月は「ひとつひとつ一歩一歩」です。毎月このカレンダーを楽しみにめぐっていきたいと思っております。そしてこれからも指導員として初心に帰り、「ひとつひとつ一歩一歩」頑張っていこうと思います。

最後に、良き仲間へ感謝し、またよろしくお願いたします。本当にありがとうございます。



おめでとうございます。

厚木市青少年育成活動 推進者表彰

第37回厚木市青少年健全育成大会が文化会館で開催され、感謝をいただきました。ありがとうございました。

青少年指導員を委嘱されて、四期目になります。初めての活動では何をしようか分からず、先輩の指導員方に教えていただきながら、少しずつ仕事ができるようになりました。地域の活動にも参加し交流を深めています。

これからも青少年団体や行政と協力して、多くの青少年が参加出来る活動を行いながら、子どもたちの成長や努力する姿勢を見守りたいと思います。

そして、情性や安逸に流されずに、常に何かに挑戦し新しいものをつくり開いていけるような環境をつくっていききたいと思っています。

平成24年度表彰者一覧

永きにわたる活動により、表彰を受けた仲間たちです。

神奈川県青少年育成活動 推進者表彰

(平成25年2月11日)

依知南地区 武田 信幸

神奈川県青少年指導員 連絡協議会表彰

(平成24年12月2日)

小鮎地区 川田 房江

厚木市表彰

(平成25年1月26日)

小鮎地区 伊藤佐重喜

緑ヶ丘地区 関口 藤緒

厚木市青少年育成活動 推進者表彰

(平成24年11月17日)

厚木北地区 岡田由起子

睦合南地区 山田 清典

荻野地区 藤倉 明美

小鮎地区 安齊 克己

南毛利地区 小俣 久

相川地区 落合 敏男

相川地区 西海 利夫

南毛利南地区 久保 勝寿

おめでとうございます

平成25年度事業予定

- 青少年指導員自主事業
- 五月 少年少女フェスティバル
- 六月 野外指導者養成講習会
- 七月 指導員技能向上研修会
- 十月 指導員交流研修事業
- 広報誌「しどういん」発行
- 一月 実技講習会
- 三月 活動記録冊子「青少年とも」発行
- 年間 部会活動の推進、理事会
- ジュニアリーダー育成等事業
- 五月 カウンセラー養成研修会
- 六月 他市町村広域交流研修会
- 七月 初級・中級養成研修会
- 三月 上級養成研修会
- その他
- 神奈川県青少年指導員連絡協議会の事業や市内関係団体等の主催事業に参加、協力

編集後記

指導員の活動を、多くの方に知ってほしい...。一年間「しどういん」の編集に係らせて頂きその取材や記事を通じて、読む人にとのよう伝えるか、ひよっとしたら伝えられないかもしれない。

様々な企画や活動の伝えることの難しさを実感しながら、読む人に伝えられた時の喜びを想像して、今後の推移を見守りたいと思います。(睦合北・M)

厚木南地区活動紹介
厚木南地区 幸田裕介

恒例のもちつき大会
睦合南地区 建部圭一

青少年指導員は、青少年健全育成連絡会のスタッフとして地区の育成団体と一緒に活動を行っています。

今回は、今年度の新規事業として9月1日、2日に実施しました「防災キャンプへGO！」を紹介いたします。



おいしくなあれ

宿泊は体育館がメインでしたが校庭にテントを張り、宿泊する参加者もいました。学校に泊まるという貴重な体験とともに防災や地域の関わりを再認識することができ、とても勉強になりました。

しそうちにほおばっていました。子どもたちの笑顔をたくさん見ることができました。また、地域の方々と力を合わせて活動することができました。地域の一人として、このような行事に協力できることをうれしく思います。

地域へ、ジュニアリーダーの積極的アピール
依知北地区 三橋智和

青少年指導員は、地域の青少年指導員・青少年相談員・単位子ども会などの他の団体と共に、青少年健全育成会の一員として活動できた一年でした。



公民館まつりでのジュニアリーダー

公民館まつりに参加して
緑ヶ丘地区 竹内隆志

青少年指導員とジュニアリーダーは、毎年11月頃の公民館まつりに参加し、焼きそば販売を担当しています。

約200食分の仕込みは前日に行い、キャベツ・人参などの野菜を切り、10食分ずつに小分けします。今期の青少年指導員は、男性ばかりの6人です。他の女性役員の方にも手伝って頂き、やっと準備ができました。

星空観察会
荻野地区 坂本 操

12月8日(土)荻野公民館で星空観察会を行いました。今回が初めての試みで、小・中学生とその保護者など、総勢133人の申し込みがあり関心の高さを実感しました。

厚木市子ども科学館の菅原先生を講師に招き、星座盤の見方の説明を受けてから星空を見上げました。2台の天体望遠鏡を使い、東の夜空に明るく輝く木星や、肉眼では見つけられない天王星・アンドロメダ大星雲などを見せてもらい、参加者はとても感動していました。

でも感動していました。菅原先生は寒い屋外で、星や宇宙の話などを分かりやすく説明してくれました。

もちつきは、かまどづくりから始まります。枯れ木を燃やしたからお湯を沸かし、もち米を蒸します。その後、臼と杵を使ってもちをつき、あんこ、きなこ、大根おろしをまぶして完成です。参加した子どもたちは、つくたてのもちをもらっておい



何がとれたかなあ

玉川をきれいにし隊活動
玉川地区 三橋正巳

「玉川をきれいにし隊」は、青少年健全育成会連絡協議会の呼びかけで始まりました。玉川・森の里の小学生と中学生、PTA役員、教職員で川の清掃活動をしています。

毎年8月の第1土曜日に開催し、参加者は、およそ150人です。学校が夏休み期間中であり、生徒と家族と一緒に参加しています。最近では一般の参加者も多くなり、自分たちの玉川をきれいにしたいとの思いが強くなっています。

清掃は、小野児童館前から玉川公民館までの約1.5キロを行います。途中に水位の深いところもあります。中学生が小学生の面倒をみて、ケガもなく全域を清掃することができています。

健全育成大会発表
南毛利南地区 山田善治

11月17日(土)に厚木市文化会館小ホールにて、第37回厚木市健全育成大会が開催されました。今年は私たち南毛利南地区が一年間の活動発表をいたしました。

11月17日(土)に厚木市文化会館小ホールにて、第37回厚木市健全育成大会が開催されました。今年は私たち南毛利南地区が一年間の活動発表をいたしました。南毛利南地区青少年健全育成会連絡協議会会長が中心になって、一年前から各種育成団体の役員21人で実行委員会を立ち上げました(私は実行委員長です)。「たのしく仲間づくり」をスローガンに、南毛利南地区の地域性、公民館・学校の紹介から南毛利南地区青少年健全育成会連絡協議会の広報・文化・体育各委員会のイベント紹介と盛りだくさんです。20回以上の検討会とダメだしを重ね、発表の日が近づくにしがって発表練



南毛利南地区勇士の皆さん

南毛利地区活動報告
(公民館まつり)

南毛利地区 中島伸一

南毛利地区は、公民館事業の公民館まつり・スポーツ祭・安心安全なまち会議・地域子ども教室、健全育成会のフェスティバルの実行委員と各単位青少年健全育成会の構成役員、児童クラブ・児童館運営委員として活動しています。

体育館いっぱい響く子どもたちの声、毎年2月の最終の日曜日に行われる公民館まつりの会場は南毛利スポーツセンター体育館で青少年指導員と南毛利中、玉川中のジュニアリーダーと力を合わせて、缶バッチ(1200個)作りです。

同じ地域に住んでいても、遊びながら親しく交わる機会が少なくなっている子どもたちにとって、このような大人数で一つの事をする体験は貴重なことではないでしょう。安全に配慮しながら、子どもたちに体験の機会を提供するのも、青少年指導員の大切な仕事の一つだと感じました。

「玉川をきれいにし隊」は、青少年健全育成会連絡協議会の呼びかけで始まりました。玉川・森の里の小学生と中学生、PTA役員、教職員で川の清掃活動をしています。

最後に、私は青少年指導員になって二期目になります。青少年も大人も、もっともつと「たのしく仲間づくり」ができてほしいと思います。